

少人数学級の拡充を求める意見書

新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づく緊急事態宣言が全面的に解除されたものの、本年10月下旬以降、再び新型コロナウイルスの感染が大きく広がっており、感染予防対策が切実なものとなっています。

一方、公立小・中学校の普通教室の平均面積は64平方メートルであり、現在の40人学級では、新型コロナウイルス感染症予防のために必要とされる児童生徒間の十分な距離の確保が困難であることから、その対応が学校現場において大きな課題となっているところです。

本年9月8日に行われた国の教育再生実行会議においても、少人数学級を進めてほしいとの意見が出され、また、文部科学大臣から少人数学級に対して、令和のスタンダードとしての新しい学びの姿であり、多くの人々が方向性として共有できる課題である旨の発言がなされたところです。

こうした実情を踏まえて、今後、新型コロナウイルスの感染が続く状況下にあっても、必要な教育活動を継続し、子供たちの学びを保障するとともに、子供たち一人一人に深い学びの実現を図り、社会で自立するために必要な資質能力を育むために、より少人数の学級による、きめ細かな教育が切実に求められています。

よって、国におかれましては、新型コロナウイルス感染症予防としても少人数学級への拡充を計画的に進められるよう、強く要望いたします。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

令和2年12月10日

北海道江別市議会

提出先

内閣総理大臣

財務大臣

総務大臣

文部科学大臣